

B06b メーリングリストを中心としたアマ・プロ協働への取り組み (小惑星のライトカーブ観測)

宮坂 正大 (東京都庁)

近年、アマチュアにも冷却 CCD カメラが普及し、小惑星のライトカーブ観測が可能となったが、適当な教科書もなく手探りの状態が長くつづいていた。

そのような中、私達は 2001 年秋に小惑星のライトカーブに関する情報交換や議論を行う場として、ライトカーブ・メーリングリストの運用を開始した。このメーリングリストは、メンバーの 6 割がプロの研究者という恵まれた環境の中で、これまでに積極的なやりとりが行われてきた。

メーリングリストの欠点として、後から加入したメンバーが過去の知識を共有できないという問題がある。これをカバーするために、これまでの議論をまとめた「ライトカーブ観測の手引」を Web で公開し、さらに、勉強会の開催や解析に必要なプログラムの配布などを通して、ライトカーブ観測の知識の普及と共有化を図ることに努めている。

この結果として、メーリングリストの中から複数のアマチュアとプロとの共同研究が生まれ、それぞれ成果が出ており、共同研究が生まれる場としての役割は果たしつつあると言えるだろう。しかし、私達の活動もまだまだ発展途上であり、今後、より小惑星のライトカーブ観測を普及させていくのが大きな課題である。

発表では、ライトカーブ・メーリングリストの活動と、そこから生まれた研究成果を紹介し、ライトカーブ観測に関心を持つ会員諸氏へアピールすることで、私達の活動をさらに広めていきたい。